

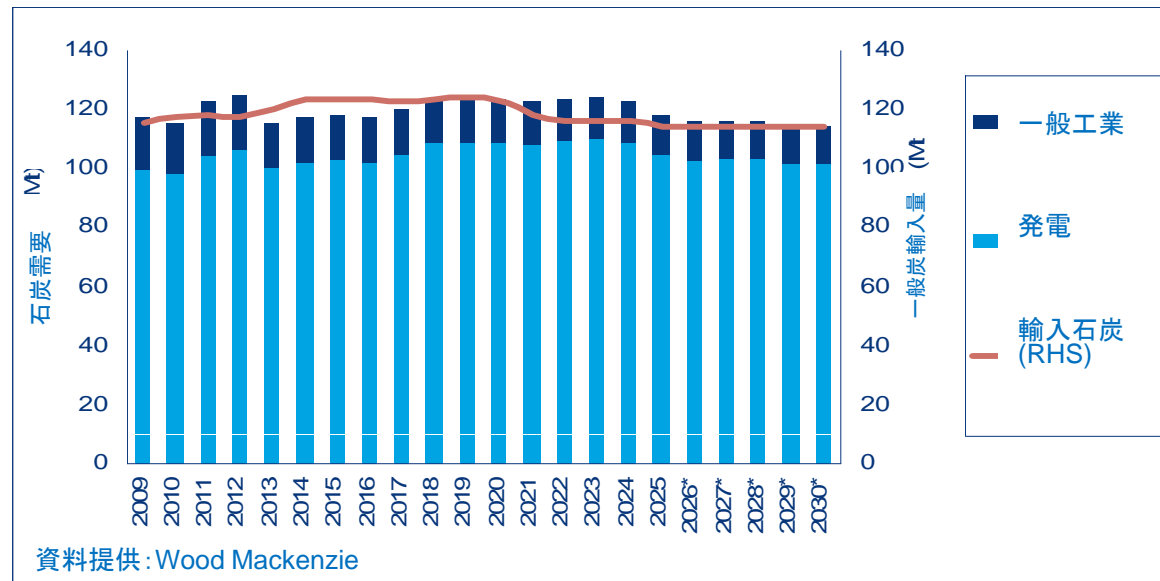
# クイーンズランド州の石炭とインフラの開発の現状



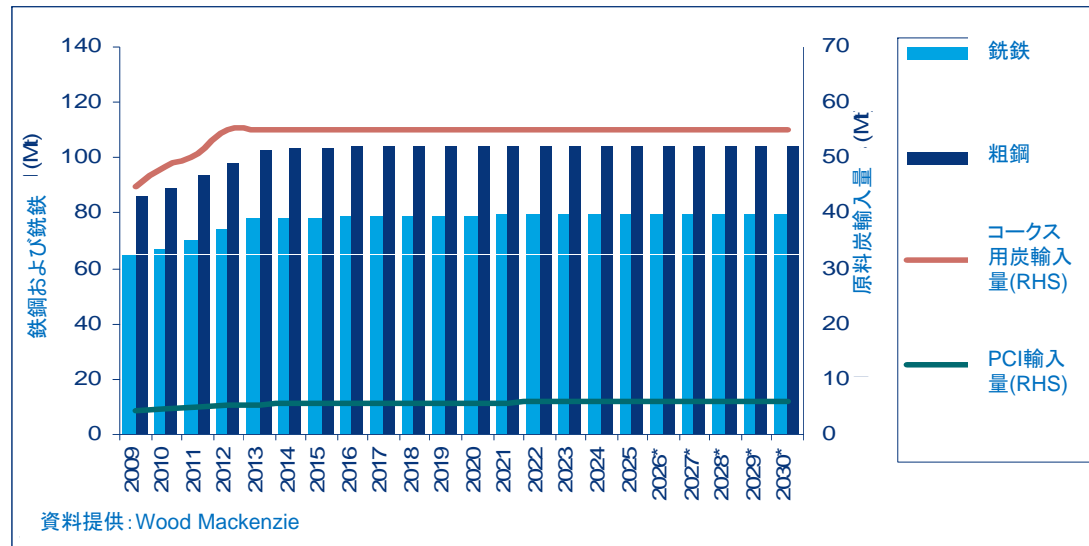
## 石炭生産・輸出の過去データ

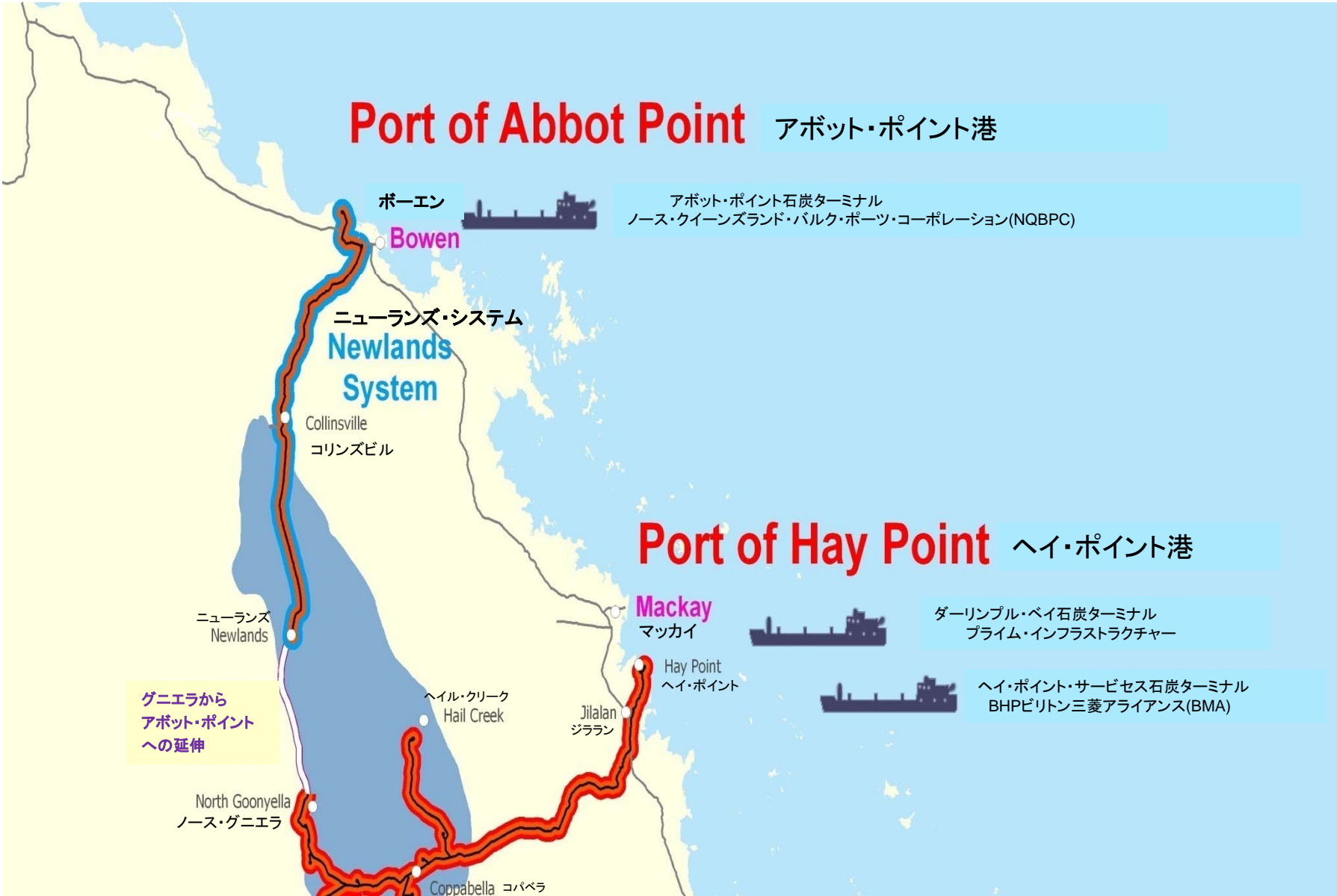
- クイーンズランド州は2008-09年度に1億5,950万トンの石炭を輸出した。
- クイーンズランド州は2009-10年度に1億8,300万トンの石炭を輸出した。
- クイーンズランド州は2010-11年度に約1億6,260万トンの石炭を輸出した。
- 2010-11年度の輸出量減少は2010年12月および2011年1月の降雨が原因である。

## 日本の一般炭輸入需要



## 日本の原料炭輸入需要





## 建設中の港湾施設インフラ – ニューランズ・システム

プロジェクト名	追加される能力 (Mtpa)	完工予定
アボット・ポイント石炭ターミナルX50 (25-50 Mtpa)	25	2011年9月

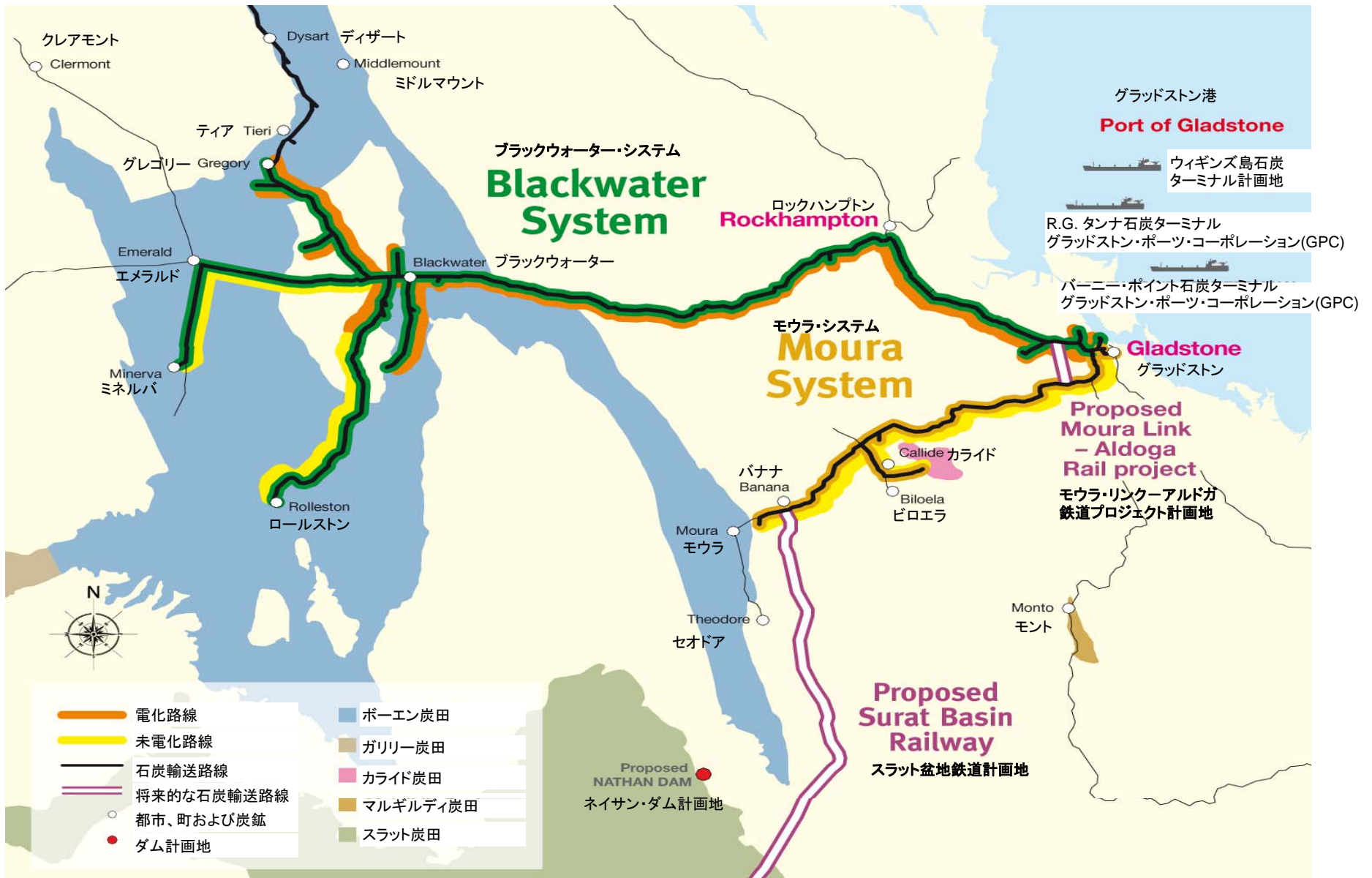
## 計画中の鉄道・港湾施設インフラプロジェクト – ニューランズ・システム

プロジェクト	追加される能力(Mtpa)	完工予定
グニエラからアボット・ポイントへの鉄道延伸プロジェクト (ノーザン・ミッシング・リンクを含む)	31 (ステージ 1 ~ 50Mtpa) 25 (ステージ 2 ~ 75Mtpa)	ステージ 1 – 2012年6月 (30Mtpaのステージ1からなる)BHPビリトン・ターミナルの要件に合わせてステージ 2 延伸プロジェクトを実施する(2016年に運転開始の可能性)。
アボット・ポイント石炭ターミナル: X75 (50-75 Mtpa)	25	2016年
BHPビリトン石炭ターミナル: 50Mtpa	30 – ステージ 1 20 – ステージ 2	ステージ 1 – 2017年
ハンコック石炭ターミナル: 60Mtpa	30 – ステージ 1 30 – ステージ 2	ステージ 1 – 2013年12月 ステージ 2 – 2018年
NQBP MCF ターミナル 4-7 (30Mtpa x 4ステージ)	30 – ステージ 1 30 – ステージ 2 30 – ステージ 3 30 – ステージ 4	ステージ 1 – 2014年10月 ステージ 2 – 2017年 ステージ 3 – 2019年



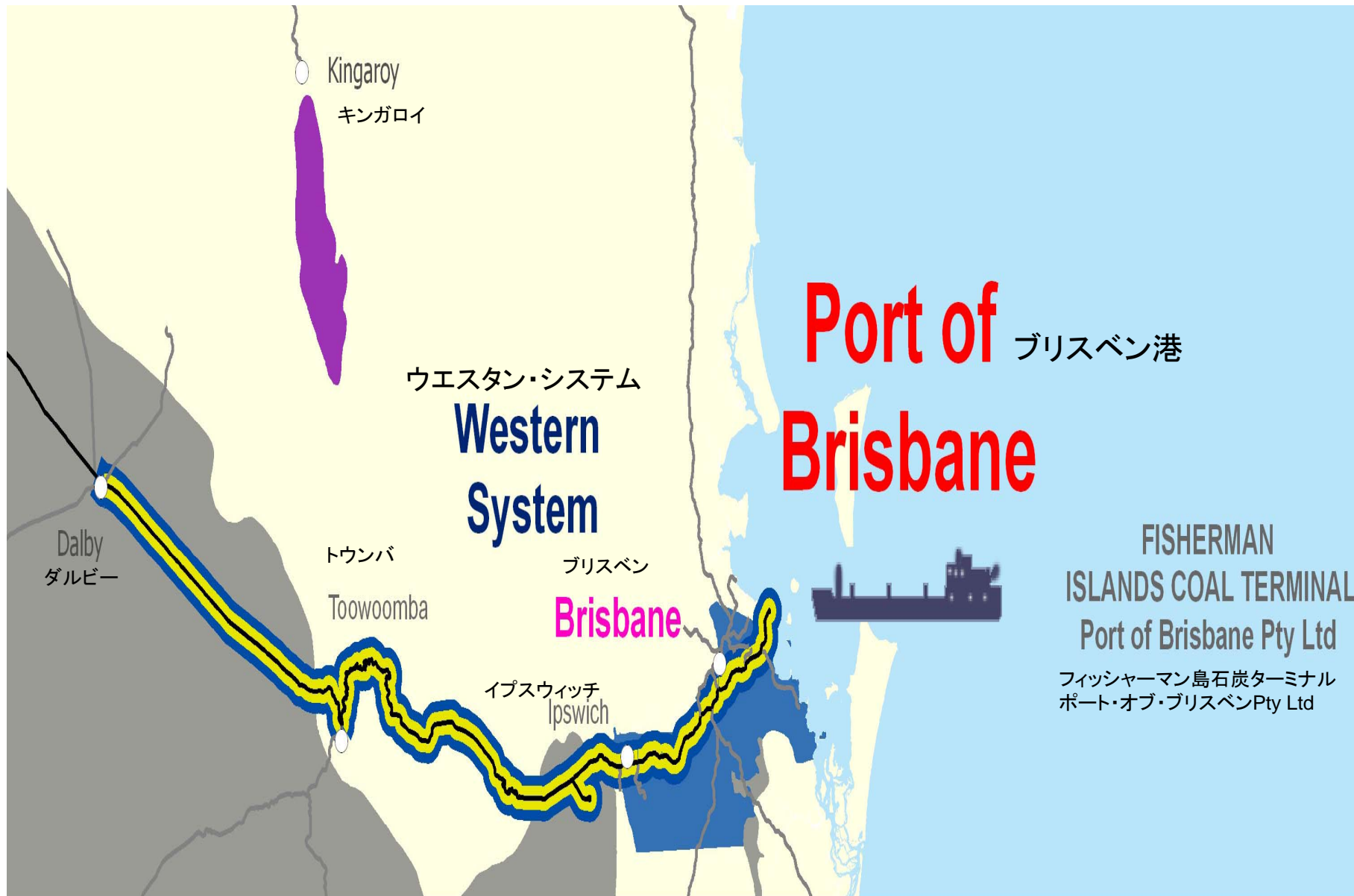
## 港湾施設インフラプロジェクト(確定済み、計画段階) - グニエラ・システム

プロジェクト名	追加される能力 (Mtpa)	完工予定
ハイ・ポイント・サービス石炭ターミナル (44-55 Mtpa)	11	2014年4月
ダーリンプル・ベイ石炭ターミナル ステージ 7X (ステージ 2/3) ~85Mtpa		2011年
計画段階: ダッジョン・ポイント石炭ターミナル (ブルックフィールド・インフラストラクチャー) (x30)	30	2017年
計画段階: ダッジョン・ポイント石炭ターミナル(アダニ) (X30)	30	2017年



## 計画中の鉄道・港湾施設インフラプロジェクト - ブラックウォーター・モウラ・システム

プロジェクト名	追加される能力 (Mtpa)	完工予定
モウラ・リンクーアルドガ鉄道プロジェクト	3	2012/13年
スラット炭田鉄道	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>•2014年6月までに運転開始</li> <li>•2015年までに30 Mtpa</li> </ul>
ウィギンズ島石炭ターミナル X30	30	•2014年半ばには初回出荷が可能
ウィギンズ島石炭ターミナル X55	25	2018年
ウィギンズ島石炭ターミナル X80	25	



## 計画中の鉄道・港湾施設インフラプロジェクト – ウェスタン・システム

プロジェクト名	追加される能力 (Mtpa)	完工予定
鉄道 (8.3-12Mtpa)	3.7	2014年6月
港湾施設 (10-12Mtpa)	2	2014年6月




## 主な石炭インフラプロジェクト:

- アボット・ポイント港
- グニエラーアボット・ポイント延伸プロジェクト (GAPプロジェクト)
- ウィギンズ島石炭輸出ターミナル (WICET)
- スラット炭田鉄道
- ワンドアン炭鉱プロジェクト
- コナーズ・リバー・ダム
- ガリリー炭田プロジェクト

## アボット・ポイント港 – T2、T3、MCF

- “X25” 拡張: 21-25Mtpaから (2009年6月完工)
- “X30” 拡張: 25-30Mtpa (2010年6月完工)
- “X50” ターミナル: 25-50Mtpaからの能力増強 (2011年9月完工予定)
- ノース・クイーンズランド・バルク・ポーツ・コーポレーション(NQBP)が所有
- NQBPは、アボット・ポイントに隣接した多目的港湾施設を建設する計画をスタートさせた。アボット・ポイント州開発エリア内で操業予定の他産業にもサービスを提供するものと思われる。





## グニエラーアボット・ポイント延伸プロジェクト (GAPプロジェクト) (ノーザン・ミッシング・リンクを含む)

- ノース・グニエラとニューランズ鉄道システムを結ぶ69キロメートルの鉄道を新たに敷設。
- ニューランズ・システムを整備し、部分的に複々線化(ニューランズーアボット・ポイント間の175kmを含む。アボット・ポイント石炭ターミナルに接続。)
- 2010年5月に着工。
- 2011年5月23日、QRナショナルがノーザン・ミッシング・リンクで鉄道敷設を開始。
- GAPプロジェクト(X50のステージ)は2012年6月までに完工の予定。



## ウィギンズ島石炭輸出ターミナル (WICET)

- グラッドストーン港に建設
- デベロッパー: 石炭会社16社で構成されるWICETコンソーシアム
- ステージ計画案と完工予定:
  - X30: 2014年6月
  - X55: 2018年
  - X80
- 完成時期は、ブラックウォーター・プロジェクトおよびスラット炭田プロジェクトからの最終コミットメントによって左右される。



## スラット炭田鉄道

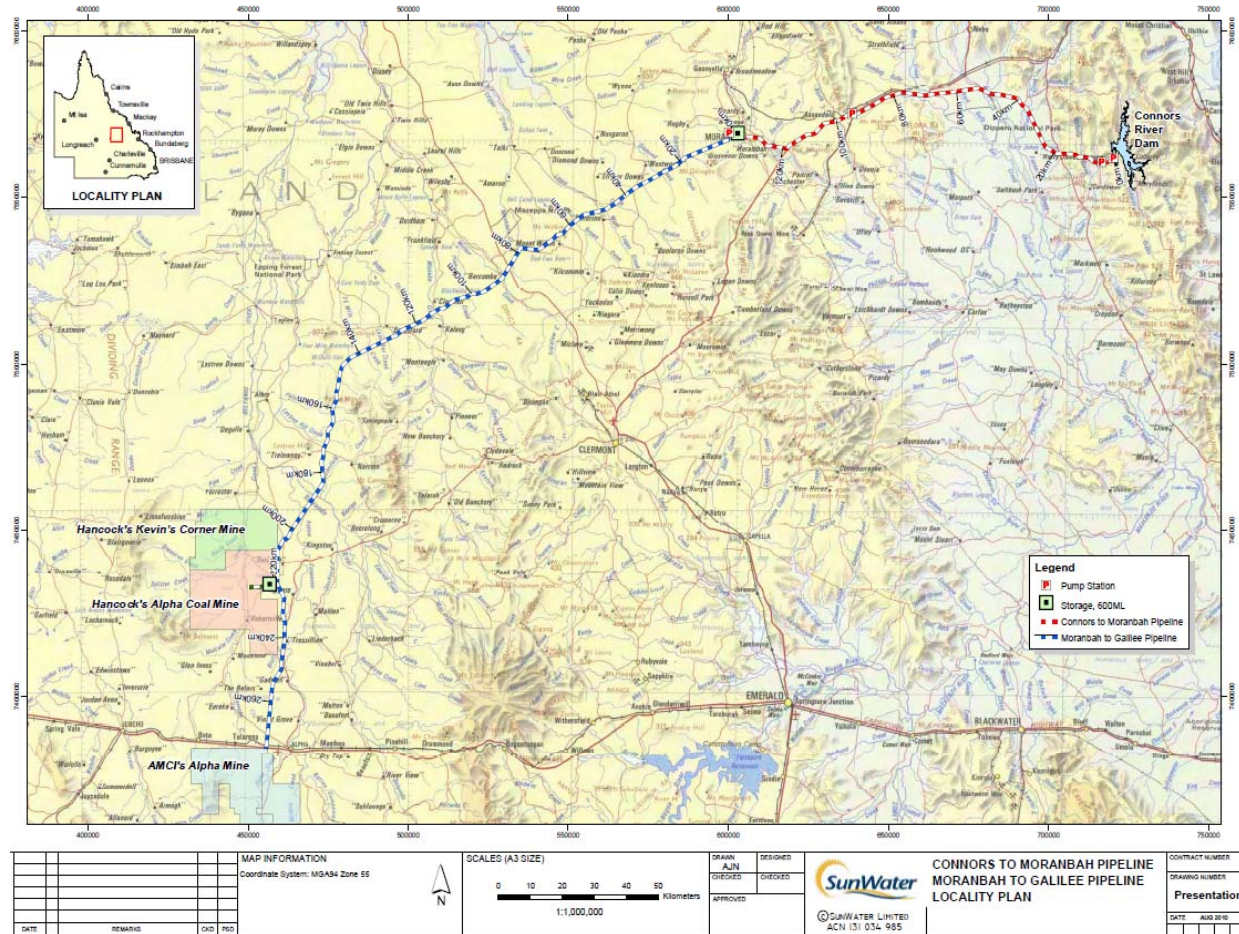
- スラット・ベイスン・レイル・ジョイントベンチャー (SBRJV):
  - オーストラリアン・トランスポート・アンド・エネルギー・コリダー (ATEC)
  - クイーンズランド・レイル (QR)
  - エクストラータ・コール
- SBRJVは、大規模な採掘を可能にし、スラット炭田から一般炭を輸出するため、ワンドアンとバナナを結ぶ210キロメートルの鉄道を敷設する計画を提案している。
- この計画には、モウラ石炭鉄道システムの整備も含まれる。
- 完成時期は、ウィギンズ島石炭輸出ターミナル、スラット炭田の石炭プロジェクトなどの関連プロジェクトからのコミットメントによって左右される。

## ワンドアン炭鉱プロジェクト

- ワンドアン・ジョイントベンチャー (WJV):
  - エクストラータ・コールQld Pty Ltd
  - ICRAワンドアンPty Ltd
  - 住商コール・オーストラリアPty Ltd
- スラット炭田ワンドアンに露天掘り一般炭炭鉱(30 Mtpa)を新たに建設する計画
- グラッドストーンに建設予定のウィギンズ島石炭ターミナル、またはエクストラータ・コール(Qld)がバラクラバ島(グラッドストンの北40km)に建設予定の新ターミナル(未承認)を通じて輸出
- 2010年11月12日:連邦統括調整官が条件付きでプロジェクトを承認
- 次の段階: EBPC法に基づく連邦政府のアセスメント、クイーンズランド州政府鉱物資源法に基づくアセスメント
- 関連プロジェクト:
  - スラット盆地鉄道
  - ウィギンズ島石炭ターミナル
  - ネイサン・ダム
  - モウラ／アルドガ鉄道リンク

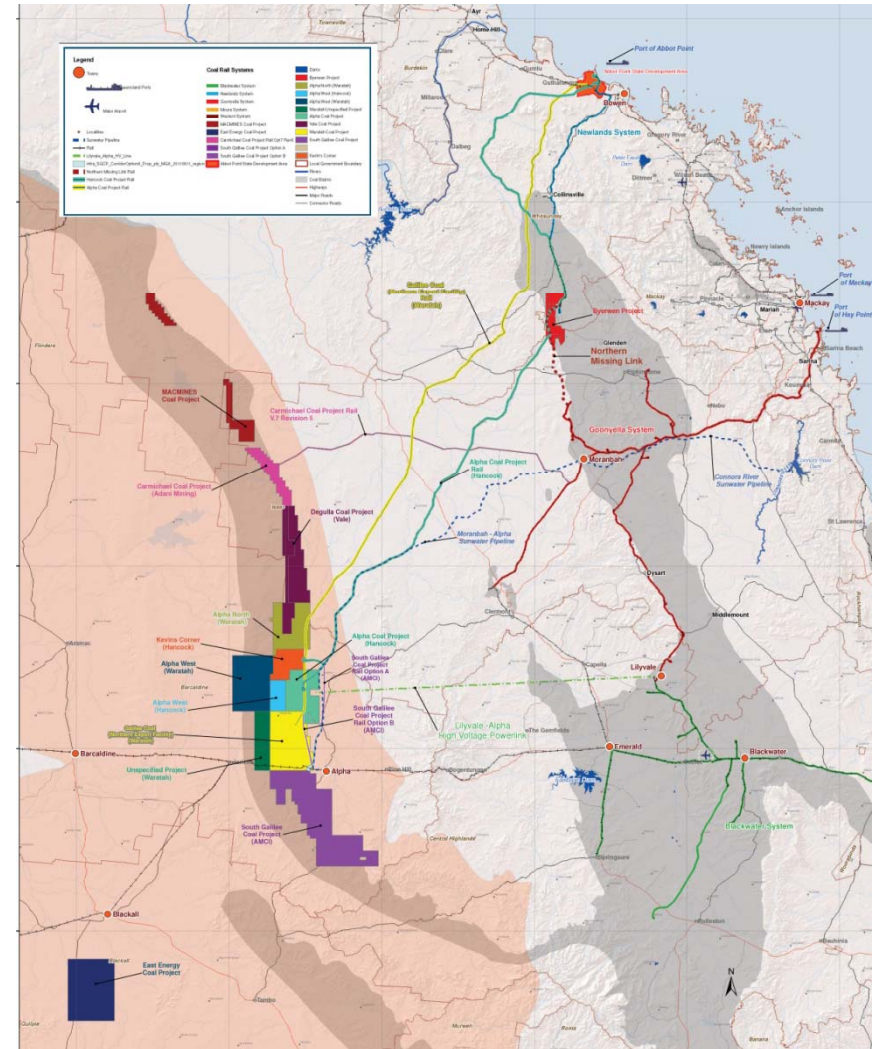
## コナーズ・リバー・ダムおよびパイプライン

- コナーズ・リバー・ダム／パイプラインプロジェクトの推進者はサンウォーター
- 見込み貯水能力は373,700 ML
- ロックハンプトンの西235km、モランバの東130km。マウント・ブリジット近くを流れるコナーズ・リバーに建設する。
- ボーエン盆地およびガリリー炭田炭鉱プロジェクトに用水を供給



## ガリリー炭田プロジェクト: 主な推進者

- ハンコック・コール (Hancock Coal)
  - アルファ・プロジェクトおよびケヴィンズ・コーナー・プロジェクト
  - 各プロジェクトは、30 Mtpaの炭鉱で構成される
  - 495 kmの標準軌鉄道をアボット・ポイントまで敷設する
- ワラタ・コール (Waratah Coal)
  - ガリリー石炭プロジェクト (チャイナ・ファースト)
  - 40 Mtpaの炭鉱 (2 x 20 Mt の長壁式鉱山)
  - アボット・ポイントに至る447 kmの標準軌鉄道
  - アボット・ポイントに港湾施設建設
- AMCI/バンダナ・エネルギー・コール (Bandanna Energy Coal)
  - サウス・ガリリー石炭プロジェクト
  - 15 ~ 20 Mtpaの露天掘り。坑内採炭へ展開。
  - 計画中の共同利用鉄道・港湾施設を活用する。
- アダニ・マイニング Pty Ltd (Adani Mining Pty Ltd)
  - カーミカエル炭鉱・鉄道プロジェクト
  - 60Mtpaの炭鉱と鉄道施設
  - 炭鉱の潜在寿命は150年
  - 当初は2Mtpa (2014年)でスタートし60Mtpa (2022年)に引き上げる。
- その他の推進者: ベイル (Vale)、マクマインズ (Macmines)



## コールプラン 2030

- 官民の石炭インフラ計画・実施を調整する。
- 安定供給を確保する。
- 2010-2030年の輸出量:  
190Mt から 340Mtへ(80%増)
- スラット盆地およびガリリー盆地の開放を計画する。
- 投資対象:
  - 鉄道
  - 港湾施設
  - 電力
  - 水道
  - 道路
  - 住宅
  - スキルおよびサービス
- コールプランのウェブサイト:  
<http://www.deedi.qld.gov.au/cg/coal-infrastructure-strategic-plan.html>

